

自然環境保全と農業

→圃場の栽培材料である、一番大切な土壌を流出させないことである。

- ・ 堆肥を投入し、作物の生育に適した条件を作る。
- ・ 木炭を混入する事で保水力が高まり、さらに土壌中の温度が高まる
- ・ キトサンは土壌の凝集力を高め、団粒構造を作り、保水力、養分保持力を高める
と同時に 土壌細菌の養分になる
- ・ 間作作物が大きくなると雨滴が直接当たることを防ぐことが出来るが、作物が大きくなる
間は敷料(干し草、シート)で防ぐことが必要である。
- ・ 有機肥料を使用する事で、有機物は養分や水分を保持する
- ・ 化学肥料は吸収される前に雨水による流出が多いようであるので、化学肥料は元
肥を 少なめにし、追肥を作物の成長に合わせて、回数を多くする必要がある。

スライド15

自然環境保全と農業を両立させるためには、土壌を流出させないことが大切であります。

そのために、堆肥を投入して生育条件をつくり、木炭を混入することで保水力を高め、昔に製糖工場で使ったキトサンを入れることで土の団粒構造を作り等を行います。

なお、キトサンの効果は調査する必要があります。

グリーンベルトの設置

- 作業安全と収量増加
- 土壌流出防止
- 有機物の生産
- 防風、防虫
- 樹木効果
- 広域グリーンベルト



スライド16

このグリーンベルトは、1年目で、幅が5メートルあります。
グリーンベルトは、作業の安全性を確保しますので、農作物の管理が良くできるので収量も増えます。
また、土壌の流出防止以外に、畑に投入できる有機物も生産されます。
さらに、カンムリワシが来て虫を食べるので防虫にも役立ち、グリーンベルトを繋げることで里山（緑の回廊）ができます。
グリーンベルトには、収益が得られる作物を植えることも考えられます。



スライド17

この実は、ポリヘノールが含まれており、ジュースにもなります、



スライド18

これはヤマモモで、繁殖力が良く、鳥が食べに来るので、防虫にもなります。



スライド19

これは、ゲットウです。